

**場所・面積**

東京都国分寺市、15.8ha

**管理目的**

地域の生物多様性保全に貢献するとともに弊社社員に働きやすい環境を提供すること

**サイト概要**

東京都国分寺市に位置する自然豊かな森、主な植生はミズキ、サワラ、コナラ森の中には湧水、池、自然林、竹林、草原など自然環境に特徴的な多様な生態系が広がっており、多種多様な生物が生息している

**土地利用の変遷**

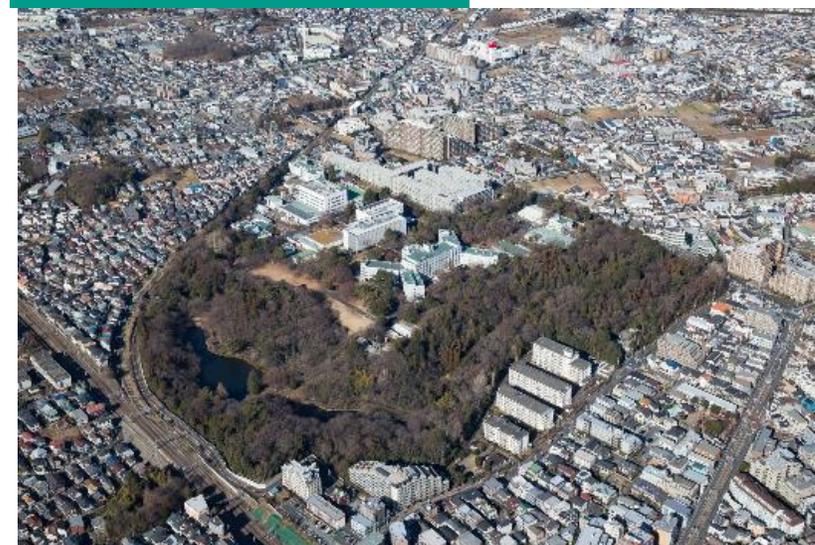
元は個人の別荘があったところを弊社が譲り受け、約80年間管理している湿地だった場所に池を造成するなど社員の憩いやリクリエーションの場として維持管理している

**サイト周辺の環境**

東京都国分寺市の国分寺崖線の近くに位置する  
本サイトは野川の源流のひとつであり野川流域には多くの公園などが点在する

**アピールポイント**

定期的な草刈りや低木の剪定などを実施し維持管理している  
野川の源流のひとつとして湧水量の測定や水生生物のDNA調査など、行政や大学の協力を得て行っている  
年2回地域住民の憩いの場として協創の森を公開している

**区域全体図・写真①****区域全体図・写真②**

## 生物多様性の価値

## 価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

## 【場の概況】

- ・ 植生を構成する主な樹木は里地里山によくみられるコナラ、クヌギ、ミズキ、サワラ等である。
- ・ 構内には複数の湧水があり、下記の魚類が確認されている。野川の源流のひとつであり、野川の生態系機能に深く関与している。

## 【主な植生】

主な植生は、コナラ、クヌギ、ミズキ、サワラ等である。

## 【確認された主な動植物】

コナラ（小櫨、学名：Quercus serrata）  
クヌギ（櫨木、学名：Quercus acutissima）

タモロコ（田諸子、学名：Gnathopogon elongatus）（※）  
ヨシノボリ属（葦登、学名：Rhinogobius sp.）（※）  
モツゴ（脂魚、学名：Pseudorasbora parva）（※）  
ゲンゴロウブナ（源五郎鮒、学名：Carassius cuvieri）（※）

（※）環境DNA分析による魚類調査結果より抜粋



写真番号：1 写真の撮影年月：2022年11月15日  
写真の説明：湧水地点

## 生物多様性の価値

## 価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

## 【場の概況】

- ・コナラ、クヌギ、ミズキ、サワラを中心とした樹種が樹林を構成し、低木層や下草も分布する健全な植生となっている。
- ・森林性の鳥類の他、大池には水辺の鳥が飛来するなど、2006～2017年の調査において、50種の鳥類が確認されている。

## 【主な植生】

主な植生は、コナラ、クヌギ、ミズキ、サワラ等である。

## 【確認された主な動植物】

下記の希少な植物の生育が確認されている。

キンラン（学名：Cephalanthera falcata）

ナガエミクリ（学名：Sparganium japonicum）

- ・東京都レッドリスト（本土部）2020年版に記載のある以下の種が確認されている（評価は当該サイトがある北多摩）。絶滅危惧Ⅱ類(VU)のカイツブリ、モズ等



写真番号：2 写真の撮影年月：2022年11月15日  
写真の説明：階層構造が明確な樹林地



写真番号：3 写真の撮影年月：2023年4月17日  
写真の説明：キンラン

## 生物多様性の価値

## 価値（8）越冬、休息、繁殖、採餌、移動（渡り）など、地域の動物の生活史にとって重要な場

## 【場の概況】

- ・ 定期的な調査で以下の鳥が確認されている。特に秋季～冬季には渡り鳥と思われるカモ類が継続的に利用している

## 【対象となる動物種】

カワセミ（学名 *Alcedo atthis*）  
メジロ（学名 *Zosterops japonicus*）  
カイツブリ（学名 *Tachybaptus ruficollis*）  
マガモ（学名：*Anas platyrhynchos*）  
オシドリ（学名：*Aix galericulata*）

## 【動物が利用している生活史】

越冬



写真番号：4 写真の撮影年月：2022年11月15日

写真の説明：越冬する水鳥類

## サイトの管理計画・モニタリング計画

管理計画の内容	モニタリング計画の内容
<p>【管理計画の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・特徴的な樹林環境及びそれが有する水源涵養機能が維持されるよう、森の奥部には手を加えないようにしている。</li><li>・上記以外の場所は定期的な草刈りや低木剪定により環境を維持している。</li></ul>	<p>【モニタリング対象】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・湧水量</li><li>・野鳥</li><li>・魚類</li></ul> <p>【モニタリング場所】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・協創の森 大池周辺</li></ul> <p>【モニタリング手法】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・湧水量測定（水深、流速測定）</li><li>・野鳥観察</li><li>・環境DNA分析による魚類調査</li></ul> <p>【実施時期及び頻度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・湧水量測定：年3回（春、夏、秋）</li><li>・野鳥観察：年2回</li><li>・環境DNA分析による魚類調査：年1回</li></ul> <p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・NPO及び行政や大学の協力を得て実施している</li></ul>